

令和2年 人口動態調査 結果の概要（鹿児島市）

※厚生労働省から提供された調査票情報を基に鹿児島市で集計したものです。

1. 出生数は減少

出生数は4,788人で、前年より10人減少し、出生率（人口千対）は8.1で、前年と同率となった。

合計特殊出生率は1.49で、前年の1.40を上回った。

2. 死亡数は減少

死亡数は6,116人で、前年より268人減少し、死亡率（人口千対）は10.4で、前年の10.8を下回った。

3. 死産数は増加

死産数は122胎で、前年より1胎増加し、死産率（出産（出生＋死産）千対）は24.8で、前年の24.6を上回った。

4. 婚姻件数は減少

婚姻件数は2,657組で、前年より265組減少し、婚姻率（人口千対）は4.5で、前年の4.9を下回った。

5. 離婚件数は減少

離婚件数は953組で、前年より156組減少し、離婚率（人口千対）は1.62で、前年の1.87を下回った。

合計特殊出生率（市、県、国の比較）

年次	合計特殊出生率		
	市	県	国
昭和 40	(2.00)1.97	2.38	2.14
45	2.02	2.21	2.13
50	1.91	2.09	1.91
55	1.74	1.95	1.75
60	1.73	1.92	1.76
平成 2	1.50	1.73	1.54
7	1.36	1.62	1.42
12	1.32	1.58	1.36
13	1.31	1.53	1.33
14	1.30	1.52	1.32
15	1.30	1.49	1.29
16	1.29	1.46	1.29
17	1.25	1.49	1.26
18	1.30	1.51	1.32
19	1.35	1.54	1.34
20	1.39	1.59	1.37
21	1.38	1.56	1.37
22	1.42	1.62	1.39
23	1.43	1.64	1.39
24	1.43	1.64	1.41
25	1.42	1.63	1.43
26	1.42	1.62	1.42
27	1.52	1.70	1.45
28	1.47	1.68	1.44
29	1.45	1.69	1.43
30	1.51	1.70	1.42
令和元	1.40	1.63	1.36
2	1.49	1.61	1.33

※ 昭和 40 年の（ ）書きは、旧谷山市も含む。また、平成 16 年の市分には、合併（平成 16 年 11 月 1 日）後の吉田・桜島・郡山・松元・喜入各支所管内を含む。